

## 【外皮性能】居室等の分類を変更する方法

文書管理番号：1278-01

### Q. 質問

外皮性能計算で部屋ごとに設定されている居室等の分類(主たる居室・その他の居室・非居室)を変更したい。

### A. 回答

各区画に設定された居室等の分類(主たる居室・その他の居室・非居室)は、任意に変更することができます。

### 操作手順

ここでは、下のような「台所」の一部にある「食品庫」の居室等の分類を「非居室」から「主たる居室」に変更する方法を説明します。

① 「計算結果」にある「居室等の分類を編集」をクリック

\* 「居室等の分類の編集」画面が表示されます。

The screenshot shows the software interface with a floor plan and a calculation results table. The floor plan highlights the '食品庫' (pantry) area in red and the '台所' (kitchen) area in blue. The calculation results table shows the classification of various rooms, with the '食品庫' row highlighted in red.

部屋名	天井断熱	居室等の分類	標準天井高(mm)	面積(m <sup>2</sup> )	修正面積(m <sup>2</sup> )
1 廊下	非断熱	非居室	2400	4.969	0
2 階段	非断熱	非居室	2400	1.242	0
3 収納	非断熱	非居室	2400	1.242	0
4 収納	非断熱	非居室	2400	0.828	0
5 U・B	非断熱	非居室	2450	3.312	0
6 WC	非断熱	非居室	2398	1.656	0
7 食品庫	非断熱	非居室	2398	0.621	0
8 押入	非断熱	非居室	2400	1.656	0
9 床の間	その他の居室	その他の居室	2400	1.656	0
10 和室	その他の居室	その他の居室	2400	13.25	0
11 L・D	主たる居室	主たる居室	2400	21.531	0

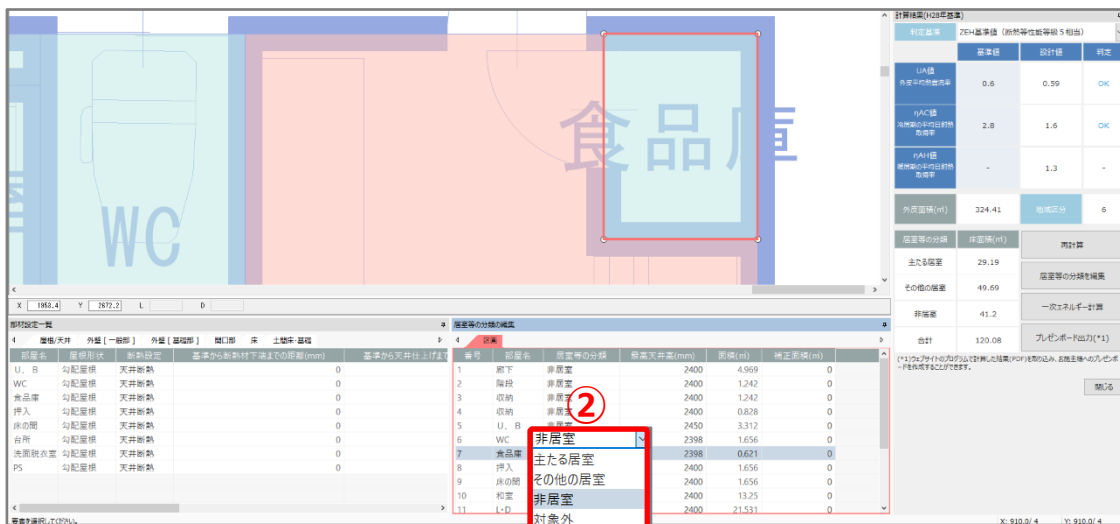
## 【参考】

計算結果や部材設定一覧の画面が表示されていない場合は、こちらをご覧ください。

### [\[1094\] 【外皮性能】 画面レイアウトのリセット](#)

## ② 変更したい部屋の「居室等の分類」欄をクリック

\* ここでは、食品庫の「居室等の分類」の欄をクリックします。

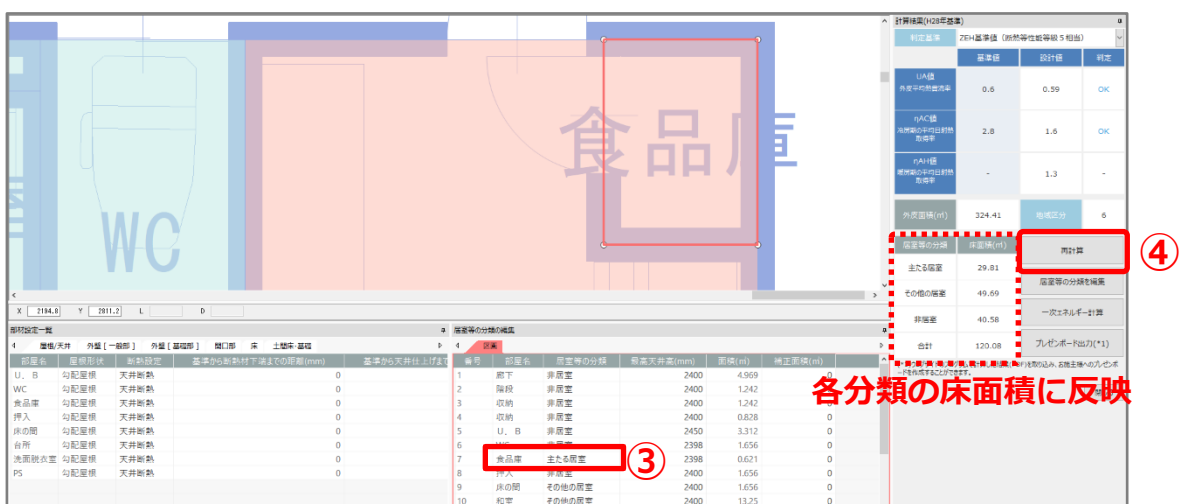


\* プルダウンメニューに主たる居室・その他の居室・非居室・対象外が表示されます。

\* 編集画面と、平面表示は連動しており、平面表示で編集したい部屋をクリックすると、編集画面で該当する部屋の行が選択されます。

## ③ 分類を選択

\* ここでは、食品庫の「居室等の分類」を「主たる居室」に変更します。



## ④ 計算結果の「再計算」をクリック

\* 設定した内容が計算結果に表示されている各分類の床面積に反映します。

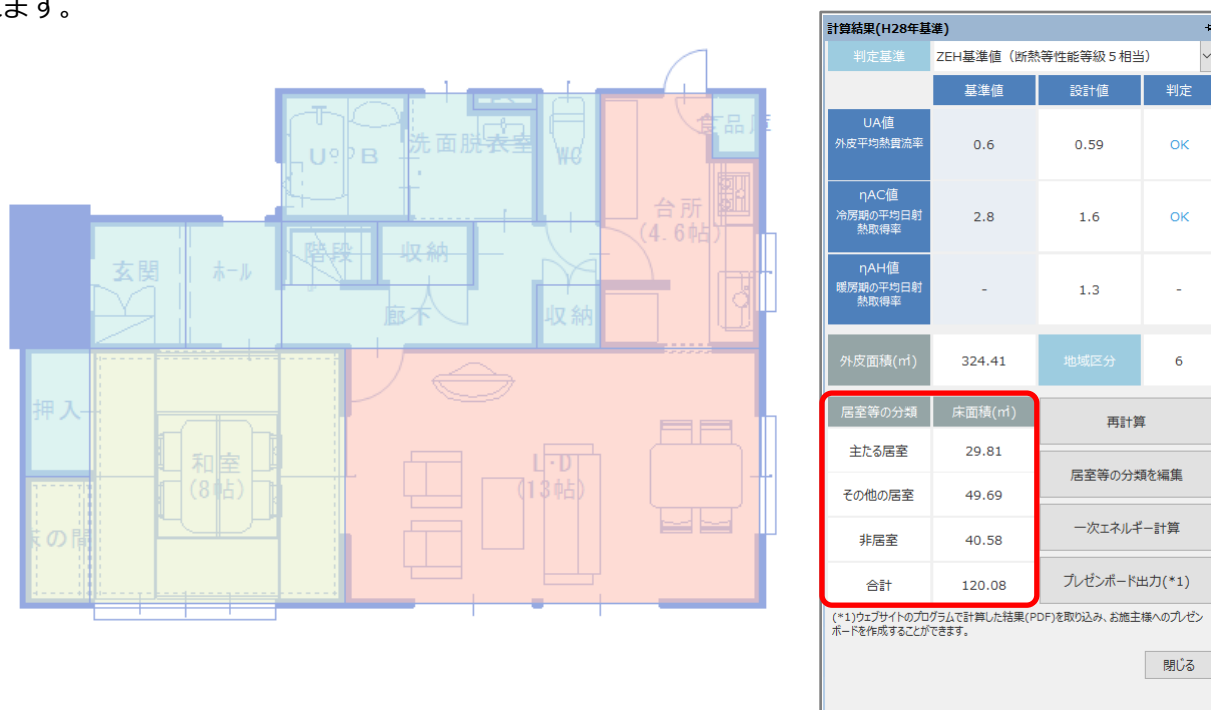
### 【参考】

収納が居室に付随している場合は、それが属する居室の一部とみなし、当該居室に分類して床面積の算定を行うことも可能です。

## 参考

(外皮性能計算)の居室等の分類(主たる居室・その他の居室・非居室)は、 (プラン図)で設定した部屋名の部屋属性から自動判断します。間取りや入力条件によっては、意図しない分類に設定されることがありますので、必要に応じて変更してください。

また、計算結果では、居室等の分類(主たる居室・その他の居室・非居室)ごとに床面積の合計が表示されます。



分類	定義
主たる居室 	熱的境界の内側にある居室のうち、基本生活行為において就寝を除き日常生活上在室時間が長い居室 (部屋属性：居間、食堂、キッチンなど)
その他の居室 	熱的境界の内側にある居室のうち、主たる居室以外の居室 (部屋属性：和室、寝室、子供部屋など)
非居室 	熱的境界の内側に存する居室以外の空間 (部屋属性：玄関、トイレ、浴室、ホール、物入、クローゼットなど)
合計	主たる居室、その他の居室、非居室の合計

\* 「対象外」を選んだ場合は、床面積に加算されず、一次エネルギー消費の対象にはなりません。

● **全開口・下り壁で区画をわける場合**

(プラン図)で区画を (全開口)や (下り壁)でわけた場合、 (外皮性能計算)の「居室等の分類」では水平方向に連続する、ひとつの区画とみなします。

例えば、「主たる居室」の隣の区画が、本来「その他の居室」及び「非居室」となる部屋属性であっても、この場合は「主たる居室」に設定されます。

同様に「その他の居室」の隣の区画の分類が「非居室」となる部屋属性であっても、「その他の居室」に設定されます。

【例】

(プラン図)で「L・D」の一部にある「食品庫」を (全開口)で、「和室」の隣にある「床の間」を (下り壁)で区切った場合、 (外皮性能計算)の居室等の分類では、「食品庫」は「主たる居室」で、「床の間」は「その他の居室」に設定されます。



● **吹抜の分類**

上階の区画に「吹抜」がある場合、「居室等の分類」では垂直方向に連続する、ひとつの区画とみなし、下階の区画と同じ分類になります。

「吹抜」の下階の区画が「L・D」の場合、「居室等の分類」では「主たる居室」で設定されます。

● **吹抜（仮想床）**

「吹抜（仮想床）」は、「吹抜」など天井高が床から 4,200mm を超える場合に表示されます。該当吹抜部分に仮想床があるものとして面積を算出し、該当する分類の床面積に計上します。

番号	部屋名	居室等の分類	最高天井高(mm)	面積(m <sup>2</sup> )	補正面積(m <sup>2</sup> )
3	吹抜(仮想床)	主たる居室	5340	50	0
4	洋室	その他の居室	2400	50	0

吹抜(仮想床) 最高天井高が下階の床から 4,200mm を超える場合が対象

- \* 最高天井高は、プラン図や高さ設定の一覧の各部屋の天井高さから自動算出され、値は任意に変更できます。
- \* 最高天井高が 4,200mm 未満の場合、部屋名は「吹抜」と表示され面積は 0 m<sup>2</sup>で表示します。